

八峰町敬老式が
開催されました

9月16日、平成18年度八峰町敬老式が開催され、出席した約130名が長寿と健康を祝いました。今年対象となったのは、初養老(満69歳)を迎えた方が134人、傘寿(満79歳)を迎えた方が127人、米寿(満87歳)を迎えた方が53人でした。はじめに行われた神事では、それぞれの代表者が玉ぐしを奉納して長寿と健康を祈願しました。その後、加藤町長が「今後も町づくりには、長年培ってきた皆さんの様々な知恵や知識をお借りしなければなりません。いつまでも元気で長生きし、我々後輩を長く指導してください。」と祝辞を述べました。また、対象となった方々に記念品などが贈られると、会場は節目を迎えた方たちを祝福する温かい拍手で包まれました。



いつまでもお元気で

水沢小児童が
秋の味覚を収穫



どの梨にしようかな～

9月21日、水沢小学校の5年生20名が梨園を訪れ、名物「みねはま梨」の収穫を体験しました。

この日訪れたのは笠原吉範さん(カッチキ台)の果樹園で、児童達は笠原さんからおいしい梨の見分け方を教えてもらい、大きく実った幸水を選びながら収穫していました。児童からは「梨の収穫できる期間は「一日の収穫量は」などたくさん質問が出され、峰浜の秋の味覚について学び、最後は梨を試食し、美味しい体験授業となりました。峰浜の梨は10月いっぱいまで収穫されます。

本館地区の伝統行事
「たいまつ祭り」

9月17日、本館地区の伝統行事「たいまつ祭り」が、本館城跡地で行われ、地域住民など約50名が参加しました。このたいまつ祭りは、慶長10年(1605年)、領民の一揆により本館城が落城。その翌年から続いた飢饉や疫病が、城主や一揆に加わって命を落とした領民によるたたりではないかと恐れられた領民が、たいまつを掲げて霊を供養したのが始まりです。



幻想的なたいまつ行列

この日は、城跡で松源院の住職らが経を誦むなど供養祭を行ったあと、参加者一人一人がたいまつを手に集落へ向けて出発。山道には、幻想的な長い列が続ききました。

岩館小学校で
「稲刈り体験学習」



昔ながらの稲刈りを体験

9月21日、岩館小学校で「稲刈り体験学習」が行われ、参加した5、6年生は、自分たちで田植えをし、順調に成長した稲を丁寧に刈り取っていました。

稲刈りを行ったのは、川村清一さん所有の通学路沿いにある田んぼで、毎日の登下校で稲の成長を約5ヶ月間見守って来ました。

参加した児童たちの中には、初めて稲刈りを体験したこどももいましたが、地域の農家の方に手ほどきを受けながら、慣れない手つきで丁寧に刈り取り、杭がけの作業を行い、収穫の喜びを実感していました。

八森中でブナ記念植樹

9月28日、八森中学校の生徒が、県が実施している「ふるさとの水と緑」創造事業の一環として、ブナの植樹を行いました。この事業はふるさとの環境学習として、学校から歩いていける場所にブナの森を作ること、白神と共に生きることを目指して行われたものです。

この日は、この事業のアドバイザーNPO法人白神ネイチャー協会の指導のもと、全校生徒約120名が、それぞれ思いを書いた立て札と一緒に、苗木を丁寧に植樹していました。この苗が立派なブナ林へ成長するには約30年かかるそうで、その頃には今回植樹した中学生もすっかりと根を張った立派な大人になっているでしょう。



自分の思いを込めて植樹

ユニークな競技を親子で
楽しんだ6保育園運動会



元気いっぱい走ったよ

9月9日、町内の6子ども園で運動会が行われ、園児たちは元気いっぱい走り回りました。

各会場ではたくさんユニークな競技が行われ、園児たちはお父さんやお母さんの手を引っ張りながら駆け回っていました。また、わが子の姿をカメラにおさめようと、子どもたちを追いかけながら撮影する保護者の姿があらわらで見られ、ほのぼのとした光景が広がっていました。

蝶類、甲虫類の標本
150種を寄贈

石川地区出身で茨城県在住の北川雅夫さんが28日、役場八森庁舎を訪れ蝶類やくわがたなどの甲虫類の標本150種を町に寄贈しました。

北川さんは小学生の頃から昆虫に興味があり、趣味で昆虫採集を続け、故郷である八峰町の子供たちの教材になればと、数あるコレクションの中から貴重な標本を提供してくださりました。

町では、この標本を峰浜地区文化交流センター(峰栄館)に展示し、小中学校の教材として活用することを検討しています。また、11月4日から開催される文化祭でも展示される予定ですので、興味のある方はご覧になってください。



貴重な標本をありがとうございました

八峰町納税貯蓄組合
設立総会



合併して新たにスタートしました

9月29日、八峰町納税貯蓄組合連合会の設立総会がファガスで開催され、八森、峰浜両納税貯蓄組合が合併しました。総会には各地域の納税貯蓄組合連合会代表ら約60人が出席。規約や予算、役員選出などを話し合いました。選出された豊田充会長は「プライバシー意識の高まりや、助成金の変更など諸問題があります。が、単位組合相互の連絡を取りながら、納税思想の普及に努めていきます」とあいさつしました。

総会には加藤町長(代理出席)、阿部町議会議長、田村能代山本地区納税貯蓄組合連合会会長ら来賓も出席し、連合会設立を祝いました。